

ActionScript 3.0 逆引きクイックリファレンス (ISBN978-4-8399-2724-0) : 初版 1 刷 正誤表

初版第 1 刷 (2008 年 4 月発行) において以下の誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

6 章

Q*052「イベントリスナーを登録／削除するには」

P.95 [メモ]

誤) System.gc() メソッド (Q*235 参照) で実行できます。

誤) System.gc() メソッド (Q*253 参照) で実行できます。

7 章

Q*066「ブレンドモードを取得／設定するには」

P.115 図中「差の絶対値」の説明文

誤) 背景のカラーとを比較し～

正) 背景のカラーと**比較**し～

Q*075「他の表示オブジェクトや座標との接触判定を行うには」

P.130 スクリーンショットキャプション

誤) 境界ボックス紫色の矩形部による接触判定

正) 境界ボックス (**紫色の矩形部**) による接触判定

Q*077「フレームレートに合わせて継続的に処理を行うには」

P.135 サンプルコード下から 3 行目

誤) `removeEventListener(Event.ENTER_FRAME, enterFrameHandler)`

正) `mcStar.removeEventListener(Event.ENTER_FRAME, enterFrameHandler)`

Q*081「フォーカス表示の黄色い枠を消去するには」

P.143 サンプルコード 3 行目

誤) `bt1.addEventListener(MouseEvent.CLICK, btClickHandler);`

正) `mcCon.bt1.addEventListener(MouseEvent.CLICK, btClickHandler);`

Q*086「フォーカス切り替え時に処理を行うには」

P.151 下部の表「relatedObject」の説明

誤) keyFocusChange イベント/mouseFocusChange イベント : 直後のフォーカス移動でフォーカスを失うオブジェクト

正) keyFocusChange イベント/mouseFocusChange イベント : 直後のフォーカス移動でフォーカスを**取得する**オブジェクト

Q*088「キーを押したとき／離したときに処理を行うには」

- P.155 下表中の定数名
誤) KeyboardHOME
正) Keyboard.HOME

Q*089「ボタンのアップ／オーバー／ダウン／ヒットの状態を取得／設定するには」

- P.157 本文 4 行目
誤) これのプロパティ～
正) **これらの**プロパティ

Q*090「ボタンの見た目の反応を無効／有効にするには」

- P.158 本文下から 1 行目
誤) ボタンやムービークリップはタブ順からも外されます。
正) ボタンやムービークリップは **フォーカス表示の黄色い枠が非表示になります。**

Q*091「ボタンのハンドカーソルを有効／無効にするには」

- P.160 本文 3 行目
誤) true は切り替えを有効を～
正) true は切り替え **の**有効を～

Q*101「ステージのサイズを調べるには」

- P.178 スクリプトコード 4 行目
誤) **trace(sW, sH);**
正) 「trace(sW, sH);」を削除。

Q*106 「ブラウザでフルスクリーンに対応するコンテンツを制作するには」

- P.186 本文 2～3 行目
誤) **使用できる値は**～
正) 「使用できる値は」を削除。

8 章

Q*109 「テキストフィールドの内容を取得／設定／追加するには」

- P.193 TIPS 内中央スクリプトコード 3 行目
誤) txt.appendText("D¥nE¥nF");**a**
正) txt.appendText("D¥nE¥nF");

Q*113「テキストフィールドのサイズを自動的に調節するには」

P.199 サンプルコード下から 2 行目

誤) txtSize.text = txt.textWidth + x + txt.textHeight;

正) txtSize.text = txt.textWidth + "x" + txt.textHeight;

Q*114 「テキストの行数／文字数を取得するには」

P.201 本文下から 4 行目

誤) 特定の位置の文字列を～

正) 特定の位置の文字を～

Q*115「テキストフィールドをスクロールするには」

P.203 サンプルコード 1-3 行目 (2 行目)

誤) txt.scrollV++;

xShowScH();

xShowScV();

正) txt.scrollV++;

xShowScV();

Q*118「テキストやcaretの位置を調べるには」

P.211 サンプルコード 9 行目

誤) strInfo += "getLineIndexOfChar() : " + lineIndex + "¥n";

正) strInfo += "getLineIndex**AtPoint()** : " + lineIndex + "¥n";

Q*120 「アンチエイリアスをコントロールするには」

P.214 本文下から 8 行目

誤) Number 型で、は-400～

正) Number 型で、**値**は-400～

Q*131 「テキストフィールドにスタイルシートを適用するには」

P.230 使用クラス

誤) flash.text.styleSheet

正) flash.text.**S**tyleSheet

P.231 表中「leading」「letter-spacing」「margin-left」「margin-right」「text-indent」それぞれの説明文

誤) 単位(px、pt)無視されます。

正) 単位(px、pt)**は**無視されます。

Q*131 「テキストフィールドにスタイルシートを適用するには」

p.231 表中「text-decoration」の説明文

誤) "normal" (無効) か "underline" (有効) で指定します。

正) "**none**" (無効) か "underline" (有効) で指定します。

Q*135 「指定座標付近の静止テキストを調べるには」

P.242 本文 9 行目

誤) 検査範囲パラメータに～

正) **最大距離**パラメータに～

9 章

Q*139 「ビットマップイメージの特定の領域を塗りつぶすには」

P.251 スクリプトコード 4 行目

誤) for(var i = 0; i < 10; i++){

正) for(var i:**uint** = 0; i < 10; i++){

Q*142 「ビットマップイメージにノイズを適用するには」

P.259 本文下から 7 行目

誤) 切り替わり領域を指定する Rectangle オブジェクト～

正) 切り替わり領域を**表す** Rectangle オブジェクト～

P.260 本文 10 行目

誤) 基本 Y ラメータは～

正) 基本 Y **パラメータ**は～

Q*143 「ビットマップイメージのカラーを置き換えるには」

P.263 本文 14 行目

誤) ソース矩形パラメータ Rectangle 型で～

正) ソース矩形パラメータ**は** Rectangle 型で～

P.264 本文 15 行目

誤) を指定するための使用する～

正) を指定する**ために**使用する～

Q*149 「ベクターグラフィックを描画するには」

P.278 本文 3 行目

誤) ジョイントパラメータ String 型で～

正) ジョイントパラメータ**は** String 型で～

Q*149 「ベクターグラフィックを描画するには」

P.278 本文下から 2 行目

誤) 切り取りは位置、～

正) 切り取り位置は、～

Q*150 「グラデーションを描画するには」

P.283 本文下から 2 行目

誤) Graphics.lineGradientStyle()および Graphics.lineGradientStyle()メソッド～

正) Graphics.lineGradientStyle()および Graphics.beginGradientFill()メソッド～

Q*156 「ぼかしフィルタを適用するには」

P.297 [サンプルコード]

正) function の最後の閉じ括弧「}」が欠けている。

14 章

Q*208 「2 点間の距離を調べるには」

P.396 本文下から 3 行目

誤) Point オブジェクト取得するには～

正) Point オブジェクトを取得するには～

15 章

Q*231 「音量をコントロールするには」

P.442 スクリプトコード内 1 行目

誤) //コードメインタイムラインのフレームアクション

正) //メインタイムラインのフレームアクション

18 章

Q*278 「バイナリデータを操作するには」

P.520 上部の表、3 段目の説明

誤) 指定したバイト配列から指定した長さのデータを読み取ります。

正) 指定したバイト配列の指定した長さのデータを書き込みます。

Q*279 「ディクショナリを使用するには」

P.522 [書式サンプル]

誤) new Dictionary(弱いキー)

正) new Dictionary([弱いキー])

以上

- ・ 公開 2008 年 5 月 19 日
- ・ 更新 2008 年 6 月 16 日 (Q*088、Q*131 の正誤情報を追加)
- ・ 更新 2008 年 7 月 11 日 (Q*077、Q*090 の正誤情報を追加)
- ・ 更新 2008 年 9 月 02 日 (Q*081、Q*086、Q*113、Q*115、Q*118 の正誤情報を追加)

発行：毎日コミュニケーションズ